



# フェニックス R/C フライトシミュレーター 日本語版 ユーザーマニュアル 「簡単インストール編」

## インストール前の準備

Phoenix を使用する為には以下のものがが必要です。

<p>1.</p>  <p>Phoenix に対応した送信機 (下記参照※1)</p>	<p>2.</p>  <p>Phoenix USB インターフェースケーブル (同梱)</p>	<p>3.</p>  <p>Phoenix インストール用純正 DVD (同梱)</p>	<p>4.</p>  <p>Phoenix 各種純正アダプター (必要な場合のみ / 下記参照※2)</p>	<p>5.</p>  <p>必要動作環境を満たしたコンピューター (下記参照※3)</p>
--	--	---	--	--

### ※1 動作確認済みの送信機

下記のリストに掲載されている送信機は Phoenix にてテストされ動作確認されたものです。送信機によっては別売りの各種アダプターを USB インターフェースケーブルに接続して使用する必要があります。詳細はリストをご確認ください。

送信機	可否	※2 Phoenix 各種純正アダプター必要の有無	備考
全ての JRプロボ製 MC/MXシリーズ	○	必要なし	MCシリーズは "DSC インターフェース" アクセサリーが必要。
Spektrum DX6 / DX6i / DX7 / DSX9	○*	必要なし	※ DX7 スペシャルエディション "SE" バージョンは使用不可。
全ての Futaba 製送信機	○*	Phoenix 用 Futaba/Hitec ラウンドアダプター (品番: PH102) または Phoenix 用 Futaba スクエアアダプター (品番: PH101) が必要。	※ Futaba FX-18 送信機は使用不可。
Hitec Aurora	○	必要なし	
全ての Hitec 製送信機 (Aurora 以外)	○	Phoenix 用 Futaba/Hitec ラウンドアダプター (品番: PH102) が必要。	
全ての Sanwa 製 RD 及び RDS シリーズ	○	Phoenix 用 Sanwa アダプター (品番: PH103) が必要。	
E-sky ETB41 2.4 GHz	○	必要なし	
Other E-sky	○	Mini DIN (Esky, Copilot, etc.) アダプター (品番: PH105) が必要。	
Co-Pilot	○	Mini DIN (Esky, Copilot, etc.) アダプター (品番: PH105) が必要。	
Blade CX, CX-2, CX-3, CP, CP+, CP Pro, CP Pro 2, Blade SR	○	必要なし	
Art-tech 100B	○	必要なし	
Walkera 2401, 2601	○	送信機に付属の "MINI-DIN アダプター" が必要となります。	

★ 以下の送信機は動作保証の対象外となりますのでご注意ください。

- ・ 他社製の USB コントローラーデバイス、ジョイスティック。
- ・ Spektrum DX7 "SE" バージョン (この送信機には R/C シミュレーターで使用するトレーナーポートがありません)
- ・ Hobbyzone 製送信機, ParkZone や E-Flite Ultra Micro 製品に同梱されている送信機。
- ・ 全ての Walkera 製送信機 (2401, 2601 を除く / 上記のリストをご確認ください)
- ・ Phoenix に対応したトレーナーポートを持たない全ての送信機。

### ※3 必要動作環境

Phoenix をプレイする為には下記の必要動作環境を満たしたコンピューターが必要です。

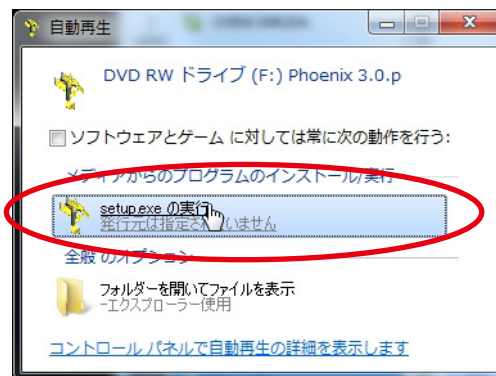
- ・ IBM- 互換のコンピューター 1.0 Ghz Pentium 3/4 又は AMD Athlon/64 互換プロセッサ搭載のもの
- ・ Microsoft Windows XP, Windows Vista, Windows 7 のいずれかの OS
- ・ 256MB システムメモリ (RAM)
- ・ 1.5 GB 以上の空きスペースを有したハードディスク (非圧縮ディスク)
- ・ ATI Radeon 9800/NVidia Geforce Ti4200 以上のグラフィックチップ
- ・ 128MB 以上のグラフィック (ビデオ) メモリ (256MB 以上推奨)
- ・ Microsoft DirectX 9.0c 以上
- ・ DVD-ROM ドライブ (インストール時のみ)
- ・ USB 1.1/2.0 port x 1 個
- ・ 100% DirectX 9 互換サウンドカード

または

- ・ 以下のシステムを使用して Microsoft Windows XP, Vista, 7 で作動している Intel ベースの Apple Macintosh コンピューター
- ・ Bootcamp (推奨)
- ・ VMWare Fusion (最新のバージョン)
- ・ Parallels (最新のバージョン)

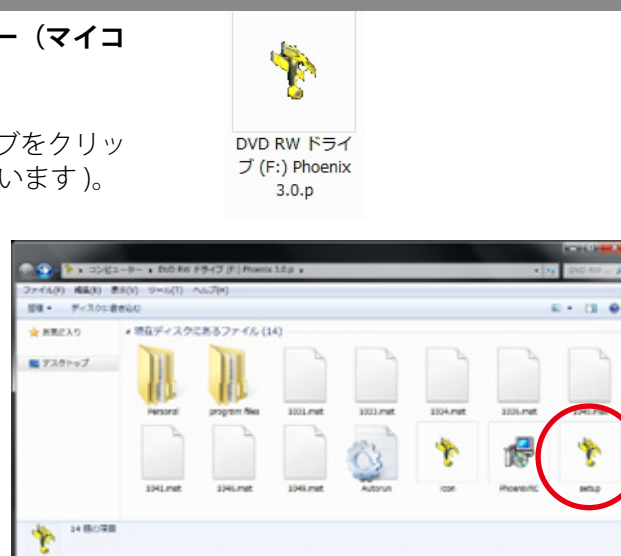
## Phoenix をインストールする。

- Phoenix DVD ディスクをコンピューターの DVD-ROM ドライブに入れ、“オートプレイ”メニューが表示されるのを待ちます。
- 表示されたメニュー内の“**setup.exe の実行**”を選択してください。  
(表示名は各 OS によって異なる場合があります。)

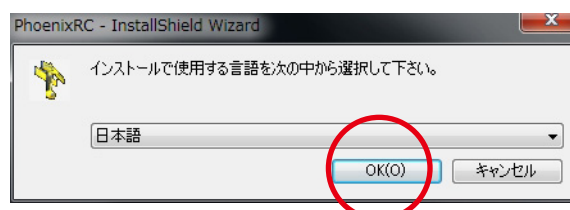


! 万一“オートプレイ”メニューが表示されない場合にはこの作業を中止し、以下の手順に従ってください。

- Windows Explorer ウィンドウ 又は コンピューター (マイコンピュター) を開きます。
- Phoenix DVD が挿入されている DVD-ROM ドライブをクリックします。(通常は“Phoenix 3.0.p”と表示されています)。
- “SetupFiles” フォルダを開きます。
- “Setup.exe” をダブルクリックしてインストール作業を開始してください。



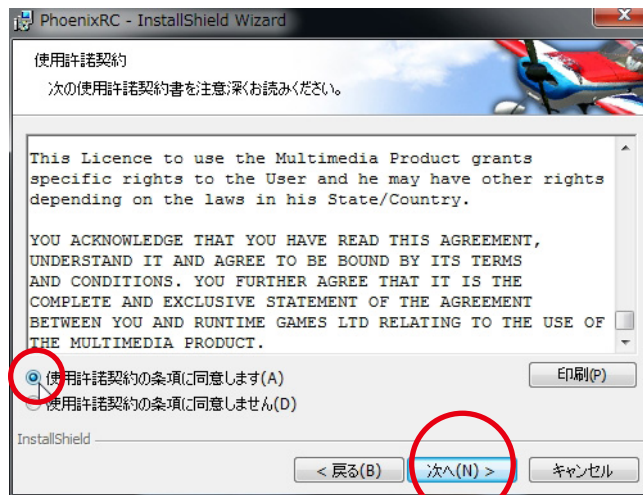
- 言語の選択を行います。この状態で **OK** をクリックします。



- Phoenix RC 用の InstallShield ウィザードウィンドウが開きます。“次へ(N) >” をクリックしてインストールを開始します。



- ⑤ 使用許諾契約書が開きます。内容に問題がなければ「使用許諾契約の条項に同意します」の先頭チェックボタンを選択して**"次へ(N) >"**をクリックします。



- ⑥ Microsoft DirectX 及び Acrobat Reader をインストールする場合にはそれぞれチェックボタンが付いていることを確認の上、**"次へ(N) >"**をクリックします。(通常は両ソフトをインストールされることをお勧めいたします。)



- ⑦ これで InstallShield ウィザードは終了です。**"完了"**をクリックしてください。



### ❗ ご注意

インストールの途中で "Install Microsoft DirectX" メニューが表示され、DirectX をインストールするか質問されます。最新の DirectX がインストールされているコンピューターでもここで DirectX を再インストールされる事を強くお勧めします。

通常は「同意する」にチェックを入れ、DVD から DirectX をインストールしてください。

